

《担当者名》今井 常晶(心) imai@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

人間を理解する際に基本となる発達の理解についての科目である。主として発達心理学の知見についての講義を中心に進める。

【学修目標】

1. 人の誕生から死に至るまでの時間のなかで、我々の心がどのように形づくられ、どのように変化・成長していくかについて理解できる。
2. 発達心理学の知見を発達援助の臨床現場に生かす際の視点について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	発達の観点から人を理解することの重要性について知る。	今井
2	乳児期の発達	赤ちゃんが持っている能力について知り、また歩行の獲得に至るまでの運動面の様相について理解する。	今井
3	乳児期の発達	母子のコミュニケーションを通じた愛着の形成や母子関係の成立について理解する。	今井
4	幼児期の発達	言語の獲得に至るまでの様相と言語発達の広がりについて理解する。	今井
5	幼児期の発達	遊びの広がりや仲間関係の発達について理解する。	今井
6	幼児期の発達	読み書き能力の獲得に至る様相について理解する。	今井
7	児童期の発達	対人関係の広がり和社会性の発達について理解する。	今井
8	青年期の発達	アイデンティティ形成などの青年期の問題について理解する。	今井
9	成人期・中年期の発達	ライフイベントや中年期の心理的危機について理解する。	今井
10	老年期の発達	老年期の特徴や心理的变化について理解する。	今井
11	認知発達と言語発達	ピアジェの発達段階を中心に認知の発達について理解する。また認知発達と言語発達の関連について考える。	今井
12	情動交流と言語発達	社会的な対人関係との関連で言語発達の問題を考える。	今井
13	発達援助の臨床	乳幼児健診の実際について、DVDで学ぶ。	今井
14	発達援助の臨床	発達に遅れのある子どもの特徴について、DVDで学ぶ。	今井
15	発達援助の臨床	発達に遅れのある子どもを持った母親の心理について、DVDで学ぶ。	今井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(100%)

【教科書】

無藤隆・岡本祐子・大坪治彦編 「よくわかる発達心理学」 ミネルヴァ書房

【参考書】

適宜資料を配布する。

【学修の準備】

テキストを随時読んでおき、関連する話題について理解しておくこと（90分）。

各回で学んだことを復習しておくこと（90分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

D P2

【実務経験】

発達障害児に対する発達支援の実務経験あり（公認心理師・言語聴覚士・音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

すべての回で、関連した事例があれば話題提供する。